



Rotary Opens Opportunities

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：佐藤 章夫 幹事：遠藤 正明

地区目標

「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう。

クラブテーマ

Let's Make The Best Better 前へ!

◆点鐘：佐藤 章夫 会長

◆ロータリーソング：なし

◆司会：早川 徹 S.A.A.

◆会場：千歳館



Yamagata West Rotary

第2890回例会

令和2年10月19日(月)

会長あいさつ

佐藤 章夫 会長



本日の定例会の後は芋煮会でございます。これは4月に予定していましたが花見例会を中止したことの代替えとして行うものです。会員の奥様方にも参加していただきありがとうございます。心から歓迎いたします。

芋煮会の由来と最上川について少

しお話しいたします。

中山町長崎の最上川右岸に「鍋掛松」があります。ここに船着き場がありました。元禄7年(1694)に荒砥まで舟運が通じるまでは、長崎が最北の船着き場でした。江戸時代、最上川は物流の重要なルートで藩の年貢米はここで積み込まれて流れを下り、大石田で船を替え酒田まで運ばれて北前船で大阪同島まで行きました。

船着き場では荷の積み卸しなどに従事する人たちが船の発着する合間に、松の枝に掛けた鍋に下から火を焚いて里芋を煮、これに棒グラを入れて食べました。これが芋煮会の始まりと言われていています。地元の研究家によれば、棒グラは高価で庶民が口にできるものではありません。ニンシだった、と言う人もいますが、それも高価でした。くだんの松は枯れては植え、枯れては植えして現在の松は4代目だそうです。

棒グラにしろニンシにしろ、どっちにしても海産物で、それらは酒田港から上り船で運ばれて来ました。舟運の航路は後に上杉領まで北上し、上杉藩の米も最上川の流に乗って延々と酒田まで運ばれました。上山藩の米は須川から最上川に入りました。

江戸時代、山形の特産物は紅花です。最上紅花は日本一の品質を誇り、京都の紅花商人たちは競って買い求めました。紅花は舟運の他に馬の背で大石田まで陸送もありましたが、そこから船で酒田に運ばれ、北前船に乗り換えて京都に向かいました。

大石田は最上川舟運の中継地、物資の集散地として繁栄しました。支流の須川に船町があります。ここは須川最大の船着き場でした。ここに荷揚げされた品々は荷駄で山形城下に運ばれました。船町は山形城下の重要な物流拠点でした。

京・大阪からは古着、日用品、雑貨から美術品までの品々が下り荷として移入され、山形文化の質を高めました。また近江商人が山形に住み着いて商売を始め山形の商業活動に刺激を与え、山形の発展に貢献しました。

最上川は今で言えば高速道路と新幹線の機能を合わせた大動脈でした。まさにザ・ベストリバー、最上の川だったのです。

クラブ報告

10月9日、写楽クラブ主催による「慈恩寺仮想ツアー」という耳慣れない催し物が行われた。興味のある方は結城会員及び参加者まで。





美味しい
芋煮に舌鼓!



飲み会も
久しぶりです!



綺麗な方達と
はい、チーズ!



また明日からも
健康元気で
頑張りましょう!



本日出席 (10 / 19)	会員総数	出席会員数
	98名	67名